

神経研究の進歩 総目次

1965年～1963年（1巻1号～7巻4号）

- 1巻1号 '56年1月
神経系疾患の診断法（Ⅰ）
- 1巻2号 '56年4月
神経系疾患の診断法（Ⅱ）
- 1巻3号 '56年8月
代謝障害と神経疾患（Ⅰ）
- 1巻4号 '56年12月
代謝障害と神経疾患（Ⅱ）
- 2巻1号 '57年4月
脳の生理に関するシンポジウム
- 2巻2号 '57年10月
脳腫瘍
- 2巻3号 '58年3月
第1回国際神経科学学会展望（Ⅰ）
- 2巻4号 '58年5月
第1回国際神経科学学会展望（Ⅱ）
- 3巻1号 '58年10月
第1回国際神経科学学会展望（Ⅲ）
- 3巻2号 '59年1月
肝脳疾患（Ⅰ）
- 3巻3号 '59年4月
肝脳疾患（Ⅱ）・小脳
- 3巻4号 '59年9月
錐体外路系（Ⅰ）
- 4巻1号 '59年11月
錐体外路系（Ⅱ）
- 4巻2号 '60年1月
展望・脊髄血管障害例
- 4巻3号 '60年4月
神経化学懇話会
- 4巻4号 '60年8月
興味ある症例の臨床と病理
- 5巻1号 '60年10月
第1回神経病理懇話会
- 5巻2号 '61年5月
脳血管性障害（Ⅰ）
- 5巻3号 '61年9月
脳血管性障害（Ⅱ）
- 5巻4号 '61年12月
脳血管性障害（Ⅲ）・精神薬理
- 6巻1号 '62年3月
脳炎・膠質細胞（第2回神経病理懇話会）
- 6巻2号 '62年7月

小児神経病学

- 6巻3号 '62年9月
第4回神経化学懇話会特集号
- 6巻4号 '62年11月
神経解剖
- 7巻1号 '63年1月 ￥1,400
脳腫瘍（第3回神経病理懇話会）
- 7巻2号 '63年3月 ￥1,200
神経疫学・診断検査法
- 7巻3号 '63年6月 ￥1,400
脳研究のあゆみ
- 7巻4号 '63年8月 ￥1,200
第5回神経化学懇話会特集号

内容の詳細は7巻2号以前の号の巻末総目次を参照してください。なお6巻4号までは品切れになっています。

1964年（8巻1号～8巻4号）

'64年1月 第8巻 第1号 1,200円

末梢神経（第4回神経病理懇話会）

- 実験的ビタミン欠乏症における末梢
神経病変……………陳 震 東
- 実験的アレルギー性神経炎（EAN）
の研究……………松山 春郎・他
- 急性・悪急性多発性神経炎の病理……………松山 春郎・他
- 末梢神経の腫瘍の電子顕微鏡的研究……………太田 邦夫
- 第4回神経病理懇話会抄録および討論

【原 著】

- 糖尿病患者の神経系障害に関する研究……………高 須 俊 明
- 定位脳手術における頭蓋脳相関と
Forel-H 野を中心とした脳基底核
群の立体的位置関係に関する研究
（第1編）……………鈴 木 朗 夫
- クロールプロマジンおよびレセルピン
投与のラット視床下部下垂体系
神経分泌に及ぼす影響……………藤 井 英 生

'64年4月 第8巻 第2号 1,200円

奇形性神経疾患

- 水頭症と Arnold-Chiari 奇形……………佐野 圭司・他
- 頭蓋底陥入症および大孔付辺の骨異常……………佐野 圭司・他
- 脳血管性奇形—脳動脈瘤など……………半 田 肇
- 頭蓋狭小児……………堀 浩

症生異常に基づく神経・皮膚症候群…川村太郎
 先天性脳腫瘍……………鈴木二郎
 中枢神経系奇形の成立機序と遺伝…村上氏広

【原 著】

急性瀰漫性リンパ球髄膜炎および
 脳症の病理……………飯塚 礼二・他
 Creutzfeldt-Jakob 病の1剖検例…………松岡 竜典・他
 定位脳手術における頭蓋脳相関と
 Forel-H 野を中心とした脳基底核
 群の立体的位置関係に関する研究
 (第2編)……………鈴木 朗夫

'64年7月 第8巻 第3号 1,300円

第6回神経化学懇話会特集号

【巻 頭 言】 台 弘

【シンポジウムⅠ 神経組織化学の新分野】

神経組織の組織化学的研究における
 二、三の問題……………藤田 尚男・他
 神経伝達物質の代謝に関する組織化
 学的研究……………清水 信夫

【シンポジウムⅡ 神経組織化学と行動薬理】

慢性覚醒剤中毒の神経化学的研究…………台 弘
 長期アルコール飲用ラットの脳皮質
 呼吸におよぼすエタノールおよび
 アセトアルデヒドの影響……………石 井 厚
 Hydrazine-2HCl により発現する異
 なる二つの型の痙攣と脳 GABA
 増加作用……………斎藤 章二・他
 脳内カテコールアミン代謝と行動変
 化……………松岡 正己・他
 行動の薬理——とくに方法論的立場
 から——……………小林 竜男・他

【シンポジウムⅢ 脳の脂質】

脳の脂質の研究……………安 田 守 雄
 脳イノシトールリン脂質代謝とイオ
 ン輸送の関係……………林 浩平・他
 脳細胞顆粒のリン脂質の研究……………塚田 裕三・他
 外傷脳および梗塞脳における脂質代
 謝および核酸誘導物質の治療面へ
 の応用……………荒木 千里・他
 糖脂質研究の進歩……………山 川 民 夫

【Special Lectures】

The Metabolism of Lipids and
 Lipoprotein in the Central
 Nervous System ……………J. Folch-Pi
 Biochemical Aspects of Schizo-
 phrenia ……………Hudson Hoagland

【一般演題】

神経生長促進因子 Nerve Growth-
 promoting Factor (NGF) の研
 究(その1)……………中沢 恒幸・他
 その他15論文

【原 著】

位相差顕微鏡による上衣細胞の細胞
 学的研究……………阿 部 英 也
 ラットの実験的脳腫瘍とその移植腫
 瘍の病理……………石田 陽一・他
 ネコの脊髄における後根線維の終止…今 井 義 量

'64年11月 第8巻 第4号 1,000円

視床—構造・機能・臨床—

視床の解剖学……………新 見 嘉兵衛
 視床の生理学……………中 浜 博
 脳波と視床……………大熊 輝雄・他
 視床腫瘍……………佐野 圭司・他
 視床の血管性障害……………亀 山 正 邦
 視床前核の手術……………半田 肇・他
 頭痛の一治療法
 —Thalamolaminotomy ……………佐野 圭司・他

【原 著】

脳性小児麻痺としてとりあつかわれ
 た胎児性水俣病の病理学的研究…………武内 忠男・他
 急性播種性脳脊髄炎の病理組織学的
 研究……………渡 辺 到
 新潟市における数種の慢性神経疾患
 および神経筋疾患の疫学的臨床的
 研究……………大 塚 顕

'65年3月 第9巻 第1号 1,000円

蛍光抗体法と Virus 性脳脊髄炎

(第5回神経病理懇話会)

日本脳炎の病理発生……………草 野 信 男
 狂犬病……………大 谷 杉 士
 ポリオ(急性灰白髄炎)……………内 田 信 之
 単純性ヘルペス脳炎と蛍光抗体法
 ——新生マウスの実験感染を中心と
 して——……………山本 達也・他

【Special Lecture】

Organic Mercurial Encephalopathy
 —An Experimental Electron
 Microscope Study……………W. Jann Brown et al.
 Discussion……………Noritsugu Mukai

【神経病理学的研究】

Gargoylium 脳の電子顕微鏡的

- 研究……………内村 裕之・他
硬膜外圧迫時の猫脳皮質の電子顕微鏡的研究—特にステロイドの効果について—……………岡田 耕坪・他
一酸化炭素中毒完全間歇型の1剖検例……………吉田 哲雄・他
非間歇型遷延一酸化炭素中毒症の1剖検例……………飯塚 礼二・他
超軟X線による人体脳の血管構築(動脈および静脈)について……………山村 武夫・他
著明な脳血管病変を合併した肝脳疾患類癥痕型を疑わせる1剖検例……………小田 雅也・他
両側側頭葉の軟化を示した1例……………高畑 直彦・他
ミオクロムスでんかん脳内小体の構造と組織化学……………難 波 益 之
興味ある組織像を呈した Glioma 1例の報告およびその組織培養所見……………景山 直樹・他
Meningothelial Meningioma の電顕像……………石田 陽一・他
Infantile Neuroaxonal Dystrophy (Seitelberger's Disease) の1例……………諏訪 紀夫・他
Infantile Subacute Necrotizing Encephalopathy with Predilection for the Brain Stem: Report of a Case……………Hideo Namiki
Heidenhain 病の1例について……………辻山 義光・他
多数の壊死巣を伴った亜急性性汎脳脊髄炎の1剖検例……………大塚 良作・他
静脈周囲脳炎の形を示した1剖検例……………猪瀬 正・他

【学会記録】

第5回神経病理懇話会記録

【原 著】

- 入院手術前に急死した脳腫瘍症例の臨床病理学的研究……………横 山 蒼

'65年7月 第9巻 第2号 1,000円

【特集 I】代謝性神経疾患

- 代謝異常による神経疾患研究の現況……………里 吉 啓二郎
フェニルアラニン、チロジンの代謝異常症……………塚田 裕三・他

- ヒスチジン、トリプトファンおよびプロリンの代謝異常と神経障害……………柿 本 泰 男
その他のアミノ酸代謝異常と中枢神経障害……………多 田 啓 也
糖質代謝障害による筋疾患……………里吉啓二郎・他
低血糖症と神経障害……………丸 山 博
ビリルビン代謝異常と神経障害……………馬 場 一 雄
Porphyrin 症……………宇尾野公義・他
進行性筋ジストロフィー症骨格筋における myoglobin の異常……………三好 和夫・他

【特集 II】ミオパチーの疫学と臨床

- 日本におけるミオパチーの疫学的総括……………勝 木 司馬之助
周期性四肢麻痺自験 43 症例の臨床的分析……………沖中 重雄・他
周期性四肢麻痺の臨床—特にカリウムとの関連……………板 原 克 哉
Thyrotoxic myopathy に関する二、三の問題……………里 吉 啓二郎
病的骨格筋とミオグロビン……………天児 民和・他
多発性筋炎ならびに近接疾患の診断および病因について……………吉川 政己・他
多発性筋炎の筋生検所見……………祖父江逸郎・他
横紋筋アレルギーの実験的研究……………上村 紀元・他
多発性筋炎症候群……………黒 岩 義五郎
進行性筋ジストロフィー症に関する研究……………三好 和夫・他
進行性筋ジストロフィー症に関する二、三の知見……………杉 田 秀 夫
新潟県におけるミオパチーの疫学およびその臨床……………室根 郁男・他
先天性ミオパチーの臨床……………高津 忠夫・他
Dystrophic arthrogryposis syndrome の同胞例について……………室根 郁男・他
討 論……………335, 342, 357, 365

【古典のページ】

- 古典のページ発足にあたって……………萬 年 甫
大脳の電氣的興奮性について—1870年—……………Gustav T. Fritsch u. Eduard Hitzig
萬 年 甫訳